

峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム

～先人の工夫と努力が育んだ独創的な果樹農業システム～



世界農業遺産
令和4年7月認定

日本農業遺産
平成29年3月認定



山梨県峡東地域



山梨市
笛吹市
甲州市

峡東地域は、日本のブドウ栽培発祥の地とされ、ブドウの「甲州」は、平安時代には栽培されていたとも言われています。また、モモ、スモモ、カキなども少なくとも100年以上前から栽培され、江戸時代から果樹の産地として知られていました。扇状地の傾斜地に適応するため、甲州式ブドウ棚と疎植・大木仕立てなどの技術が生み出され、こうした技術を伝承し、匠の技による高品質な果実や加工品を安定的に生産し、収益性の高い農業を確立しています。

伝統的な知識

甲州式ブドウ棚

日本の多雨・湿潤な気候で、ブドウを安定的に生産するために400年以上前に開発された技術。



ワイン醸造や観光利用

ワイン醸造

明治初期には「甲州」などのブドウでワイン醸造を開始し、現在では峡東地域に60軒を超えるワイナリーが存在。

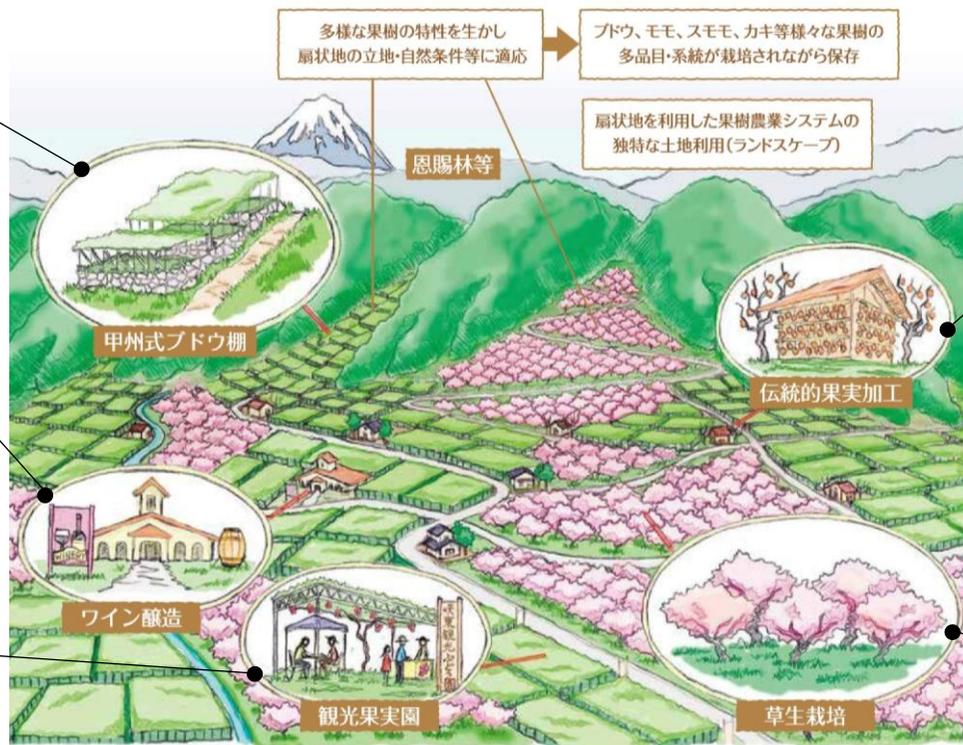


観光果実園

江戸時代に宿場町として栄えた甲州市勝沼町において、往来する旅人に対し、特産のブドウや加工品等を販売したことから始まり、現在では国内外から多数の観光客が来訪。



果樹農業システム



伝統的果実加工



枯露柿の生産

枯露柿は、「甲州百目」と呼ばれる峡東地域の在来品種の渋柿を原料として作られる干し柿で、皮むき、縄がけなど数多くの工程が伝統的な加工技術として継承。

農業生物多様性



自生する草種を利用した草生栽培

傾斜地での雨水による土壌流亡防止や土壌への有機物補給などの効果とともに、植物・昆虫が生育できる多様な環境をつくり、果樹園の生物多様性に寄与。

世界・日本農業遺産認定による効果

食料及び生計の保障

担い手の育成

- ・ 担い手の確保・育成に係る研修(果樹農業技術研修) 898回/年(R5)
- ・ ブランド化の強化、消費拡大
- ・ 消費拡大に向けたPR活動 19回/年(R5)

新たな加工品の開発

- ・ 新たな加工品の開発 累計6件



ベテランによる若手の育成



高品質な果実

農業生物多様性

多様な果樹の栽培

- ・ 多様な果樹の品種・系統の維持 300種以上

草生栽培と生物多様性の維持

- ・ 果樹園での草生栽培の実践

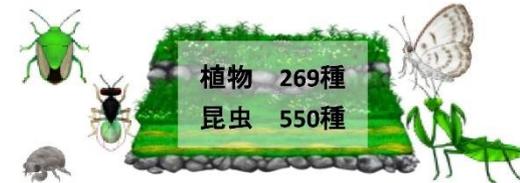
環境に優しい農業の推進

- ・ 環境保全型農業の実践
- ・ GAP認証取得者数 累計75団体



ブドウ 148、モモ 86、
スモモ 45、オウトウ 53、
カキ 13、ウメ、リンゴ、
キウイフルーツ、ナシ、クリ、
ブルーベリーなど

多様な果樹栽培



植物 269種
昆虫 550種

草生栽培が育むたくさんの生き物

地域の伝統的な知識システム

知識システムの伝承

- ・ 果樹農業技術研修 898回/年(R5)
- ・ 甲州式ブドウ棚掛けワークショップの開催
- ・ 農業遺産セミナーの開催 等



農家を対象とした技術研修



棚掛けワークショップ



農業遺産セミナー

文化、価値及び社会組織

子どもたちへの伝承

- ・ 農業遺産副読本の配布、農業体験の促進

若手農業者組織の活動促進

- ・ 若手農業者組織の支援 6組織

多様な主体の参画促進

- ・ 農泊等グリーンツーリズム取組 10取組/年(R5)
- ・ HP、Instagram等による情報発信
- ・ 観光との連携(モニタリングツアー実施等)



副読本の配布



枯露柿作り体験

ランドスケープ

ランドスケープを維持する活動の推進

- ・ 保全活動組織 累計104組織
- ・ 保全活動進捗状況のHPでの公開



春の桃源郷



地域住民による保全活動



ブドウ棚が織りなす風景